

## 飯塚市自殺対策計画指標一覧（飯塚市自殺対策計画 49～51 ページ）

(1) 基本施策	【1】地域におけるネットワークの強化				
	評価項目	現状 2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	目標 2023年度 (令和5年度)	担当課
	飯塚市いのち支える自殺対策推進委員会開催回数	—	0.5回 (全員が集まって会議を行うのではなく、個別にヒアリングを実施)	1回以上/年	健幸・スポーツ課
	飯塚市健康づくり・食育推進協議会開催回数	5回	2回	1回以上/年	健幸・スポーツ課
	地域福祉ネットワーク委員会開催回数	120回/年	110回	120回/年	高齢介護課
	飯塚市要保護児童連絡協議会開催回数	7回	14回	11回/年	子育て支援課
	飯塚市青少年問題協議会開催回数	2回	2回	2回/年	子育て支援課
	障がい者地域自立支援ネットワーク事業主催会議開催回数	55回	64回	26回以上/年	社会・障がい者福祉課
飯塚市子ども会指導者連絡協議会事業開催回数	16回	15回	16回/年	生涯学習課	

【2】自殺対策を支える人材の育成

評価項目	現状 2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	目標 2023年度 (令和5年度)	担当課
職員向けゲートキーパー養成講座開催回数	1回	1回	1回以上/年	健幸・スポーツ課
講座受講者アンケートで「自殺予防等の理解が深まった」と回答した人の割合	未実施	92%	70%以上	健幸・スポーツ課

【3】市民への啓発と周知

評価項目	現状 2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	目標 2023年度 (令和5年度)	担当課
市民向けゲートキーパー養成講座開催回数	1回	令和2年度より実施	1回以上/年	健幸・スポーツ課
講座受講者アンケートで「自殺予防等の理解が深まった」と回答した人の割合	未実施	令和2年度より実施	70%以上	健幸・スポーツ課
市報掲載回数、ホームページ更新回数	市報 1回/年 ホームページ 1回/年	市報 1回	市報 2回/年 ホームページ 2回/年	健幸・スポーツ課

【4】 生きることの促進要因への支援

評価項目	現状 2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	目標 2023年度 (令和5年度)	担当課
がん検診精密受診率 (胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺)	胃がん 91.9% 肺がん 86.9% 大腸がん 76.9% 前立腺がん 74.4% 子宮頸がん 81.0% 乳がん 91.6% (いずれも 2017年度の 数値)	胃がん 92.3% 肺がん 89.2% 大腸がん 81.2% 前立腺がん 74.0% 子宮頸がん 100% 乳がん 94.9% (いずれも 2018年度の 数値)	胃がん 90.0% 肺がん 90.0% 大腸がん 90.0% 前立腺がん 90.0% 子宮頸がん 90.0% 乳がん 95.0%	健幸・スポーツ課
母子・父子自立支援相談件数	279件	145件	380件	子育て支援課
家庭児童相談件数	2,254件	2,564件	2,500件	子育て支援課
育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	81.5%	89%	90.0%	健幸・スポーツ課
子育て世代包括支援事業支援プラン作成数	148件	120人	150件	健幸・スポーツ課

(2) 重点施策	<b>【5】児童生徒のSOSの出し方に関する教育</b>				
	評価項目	現状 2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	目標 2023年度 (令和5年度)	担当課
	スクールソーシャルワーカーおよびスクールカウンセラー等の年間相談数	1,000件	1,679件	1,000件	学校教育課
	不登校児童生徒の復帰率	25%	28.5%	25%	学校教育課
	<b>【1】勤務者・経営者対策</b>				
	評価項目	現状 2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	目標 2023年度 (令和5年度)	担当課
	飯塚市職員に対する健康管理の実施	職員総合健診 年1回 産業医面談 月2回 保健師相談 週1回	職員総合健診 年1回 産業医面談 月2回 保健師相談 週1回	職員総合健診 年1回 産業医面談 月2回 保健師相談 週1回以上	人事課
	求職者支援事業における若年者の就職者数	37件	15件	55件	商工観光課
	<b>【2】生活困窮者対策</b>				
	評価項目	現状 2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	目標 2023年度 (令和5年度)	担当課
生活自立支援相談室における新規相談受付件数	188件	202件	246件	生活支援課	

【3】高齢者対策				
評価項目	現状 2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	目標 2023年度 (令和5年度)	担当課
介護予防教室の実 施会場数	24か所	26か所	24か所	高齢介護課
認知症サポーター 受講者数	855人/年	736人	1,000人/年	高齢介護課

### 飯塚市における自殺者数および自殺死亡率

(自殺者数)

【単位(人)】

	2015年(平成27年)	2019年(平成31年)	
飯塚市	27人	30人	

(自殺死亡率)

【単位(人/10万人)】

	2015年(平成27年)	2019年(平成31年)	2023年(令和5年)
飯塚市	20.58 (計画の基準値)	23.26	16.09以下 (目標数値)

### 地域の自殺の特徴 ※「地域自殺実態プロファイル(2019)」より抜粋

・福岡県飯塚市の自殺者数は2014～2018年合計132人(男性95人、女性37人)(地域における自殺の基礎資料(自殺日・住居地))

上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性60歳以上無職同居	22	16.7%	46.1	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:男性40～59歳有職同居	15	11.4%	29.0	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位:女性60歳以上無職同居	11	8.3%	14.0	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
4位:男性40～59歳無職同居	10	7.6%	148.6	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺
5位:女性60歳以上無職独居	7	5.3%	24.1	死別・離別+身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

警察庁自殺統計原票データを厚生労働省(自殺対策推進室)において特別集計

順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

\*自殺死亡率の母数(人口)は平成27年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計した。

\*\*「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書2013(ライフリンク)を参考にした。